

## 報告

## 異物が入った！ さあ、どうしよう？

齋 哲也\*

## まえがき

たとえば、耳掃除をしていたら、耳搔<sup>か</sup>きの先が耳(外耳道)の中で折れてしまった。さあ、どうしよう？

ご飯を食べていたら、魚の骨が刺さってしまった。さあ、どうしようということがあります。

魚の骨が刺さったらご飯の塊を飲み込めば良い、という間違っ<sup>た</sup>言い伝えを信じたため、とんでもないことが起こったりします。

異物の種類と場所によっては、直ちに愛知県救急医療情報センターへ連絡(電話：052-263-1133)しなければならぬ場合もありますし、そのままにしておいて翌日、耳鼻咽喉科の医療機関へ行って取ってもらえば良い場合もあります。

一般的に、耳鼻咽喉科の異物の場合は、当人はもとより周りの人も、下手に取ろうとしないことが大切です。

それでは、どのようにしたら良いのでしょうか？

## 1. 異物とは

人間の体にもともと無い物が外から体に入り、刺さったり詰まったりした物を異物といいます。そのために痛んだり、息が出来なくなったり、いろいろな症状が出ますので、異物症という病名が付きます。

## 2. 耳鼻咽喉科と異物

耳鼻咽喉科医の取り扱い場所は中空の場所が多

いので異物が入りやすく、入ったら出にくいので耳鼻咽喉科と異物は縁が深いのです。

## 3. 耳鼻咽喉科医の取り扱い場所

(耳鼻咽喉科)

- ・耳 (外耳道) みみ
- ・鼻腔 (びくう) はな
- ・口腔 (こうくう) —
- ・咽頭 (いんとう) — } のど
- ・喉頭 (こうとう) — }

(気管食道科)

- ・気管 (きかん)
- ・食道 (しょくどう)

注：腔(くう)は、(こう)が正しい

これらの場所は、いずれも中空です。

耳鼻咽喉科と気管食道科は、それぞれ独立した科目ですが、異物の面から、耳鼻咽喉科医は耳鼻咽喉科と気管食道科の両方を取り扱います。

## 4. どんな場所に、どんな異物が、どんな年齢に多いのか？(表1)

外耳道異物・鼻腔異物は、いずれも「おもちゃ」が一番多く、外耳道異物では1歳から9歳までが、鼻腔異物では1歳から5歳までが、それぞれの殆どを占めていました。咽頭異物では、「魚骨」が一番多くどの年齢にも見られました。気管・気管支異物では、ピーナッツが一番多くその殆どを0歳から2歳までが占め、食道異物では、「貨幣」が一番多く0歳から5歳までがその殆どを占めていました。

\*モタイ耳鼻咽喉科

表1 どんな場所に、どんな異物が、どんな年齢に、多いのか？

- ・外耳道異物：106例（おもちゃ39例、1歳～9歳＝33例）  
（昆虫30例16歳以上19例）
- ・鼻腔異物：168例（おもちゃ83例、1歳～5歳＝80例）
- ・咽頭異物：59例（魚骨56例、1歳～9歳＝23例、  
10歳以上33例）
- ・喉頭異物：7例（魚骨5例、16歳以上5例）

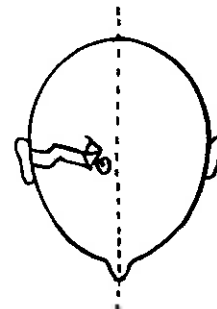
○昭和52年4月3日から平成元年3月26日までの間に、名古屋市医師会休日急病診療所耳鼻咽喉科診療室を訪れた異物症患者から摘出した（保存異物）340例の内訳：

- ・気管・気管支異物：59例（ビーナッツ37例、  
0歳～2歳＝35例）  
（豆8例、1歳～2歳＝7例）

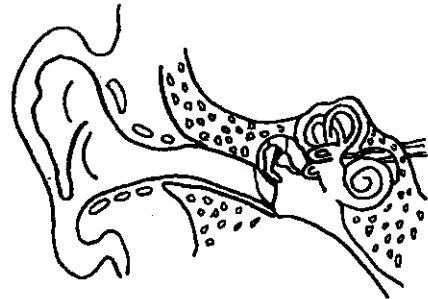
○昭和51年1月から平成3年12月までの間に、名古屋市立大学耳鼻咽喉科を訪れた59例の内訳：（日気食会報43-5）

- ・食道異物：65例（貨幣19例、0歳～5歳＝16例）  
（魚骨15例、30歳以上15例）

○昭和53年1月から昭和61年8月までの間に、宮崎県立宮崎病院を訪れた65例の内訳：（日気食会報38-4）



真上から



前から

図1 外耳道

## 5. 異物が入った！さあ、どうしよう？

### 1) 外耳道 (図3-1)

外耳道を真上から見ると、前へ曲がり、後ろへ曲がり、また前へ曲がります。前から見ると、1/3は上へ曲がり奥2/3は下へ曲がります。一番奥には鼓膜がありますが、斜めに傾いていて、外耳道との境は谷になっています(図1)。つまり、外耳道は入り口が狭く曲がりくねった管です。従って、異物が入ると出にくく、曲がっているため取りにくいといえます。

入ったままの状態、翌日耳鼻咽喉科医療機関で取ってもらってください。当人や周りの人が取ろうとしますと、傷がついたり、余計に奥へ押し込んだりします。

ゴキブリ等昆虫が入った時に取ろうとしますと、ゴキブリ等昆虫は奥へ入り鼓膜を傷つけたり、外耳道を傷つけ出血します。

昭和58年9月3日の夜、43歳女性の右外耳道に

「ゴキブリ」が入りました。この女性は、取ろうとせず翌日名古屋市医師会休日急病診療所耳鼻咽喉科診療室を訪れました。殆ど傷も無く、出血も無く比較的容易に取れました。摘出異物展示標本の外耳道通し番号10：に摘出した「ゴキブリ」が保存してあります。昆虫が入っても取ろうとしない方が良いという実例です。

小さい昆虫が夜外耳道へ入った場合は、取ろうとせずに部屋を暗くして、耳介(耳たぶ)の内側を照らしますと、光に誘われて昆虫が自分から出てくることもあります。

### 2) 鼻腔 (図2) (図3-2)

鼻腔も、入り口が狭く、奥が広い空洞になっていますが、左右の鼻腔の境(真ん中)には鼻の障子(鼻中隔)があり、鼻腔の側壁からは鼻甲介が飛び出している複雑な格好の空洞です。

外耳道も鼻腔も幼児が「おもちゃ」を入れることが一番多いのです。鼻に異物が入った時も取る

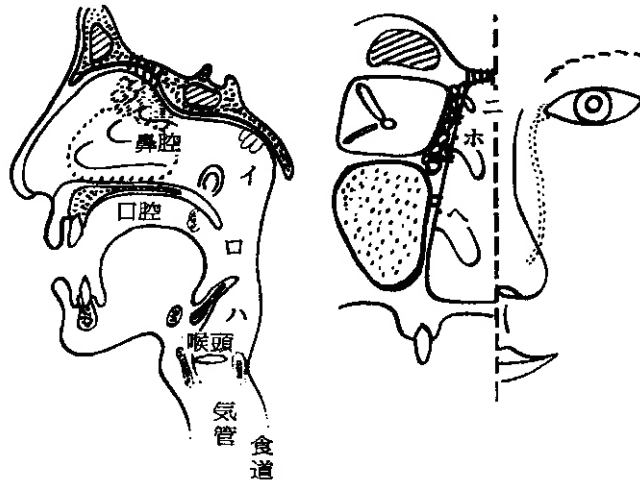


図2 鼻腔

イ：上咽頭、ロ：中咽頭、ハ：下咽頭、ニ：上鼻甲介、ホ：中鼻甲介、ヘ：下鼻甲介

うとしても無理です。丸い物を入れるのですから、取ろうとしてもくるくる回るのみで取れません。左右の鼻腔の境にある鼻の障子(鼻中隔)の前にある血管を傷つけ出血します。また、奥の方へ押し込んで取り難くします。更に奥へ入り、のど(咽頭)を通り気管へ吸い込まれることもありますので、取ろうとせずに入ったままの状態です、翌日耳鼻咽喉科医療機関で取ってもらってください。

3) 咽頭 (図3-3)

魚の骨が一番多い。

一番刺さりやすい所へ刺さりますので、取ろうとせずそのままの状態です、翌日に耳鼻咽喉科医療機関で取ってもらってください。

ご飯の塊を飲み込んだりしますと、更に奥の方へ刺さったりします。また、次から次へのご飯の塊を飲み込んだりしたため、食道の壁を破り食道の外へ押し出され、頸を切って取りだした報告もあります。

4) 喉頭・気管 (図3-4・5)

喉頭の入り口・気管の入り口に異物が詰まった時、たとえば、老人がお雑煮を食べ柔らかいお餅が喉頭の入り口で詰まりますと、窒息する危険がありますので、直ちに愛知県救急医療情報センタ

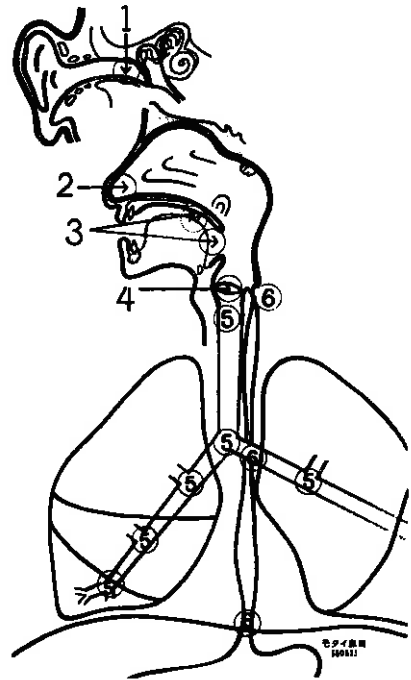


図3

ー (電話：052-263-1133) へ連絡してください。いき(呼吸)ができなくて窒息し、下手をする

と、死亡することもあります。

5) 食道 (図3-6)

食道へ異物が入った時、いき(呼吸)が苦しくない場合は、翌日に、気管食道科と書いてある診療所や官公立病院または大学病院へ行って取ってもらってください。いき(呼吸)が少しでも苦しいような場合は、気管が押さえられていて窒息しますので、直ちに愛知県救急医療情報センターへ連絡してください。

6. まとめ

●異物が入った！さあ、どうしよう？

- ①あわてないこと！
- ②むやみに取ろうとしないこと！
- ③状況を正しく見定めること！

たとえば、2歳位の子供が遊んでいて急に目を白黒させ、もがきだした時→喉頭や気管異物→窒息死の恐れ。直ちに、愛知県救急医療情報センター☎052-263-1133へ連絡。この時、年齢・性別の他状況を要領よく伝えること！

異物の種類と場所によっては、窒息のため死亡することもあり、翌日診療時間中に医療機関を受診すれば良いこともあります。一番怖くて、急を要するのは、空気が通る《気道》の入り口や中に異物が入り詰まって呼吸ができなくなり、時には窒息死することです。

直ちに愛知県救急医療情報センターへ電話し、たとえば「2歳の男の子が遊んでいたら、急にドタバタして泣き声も無く苦しそうにしています」と、状況を正確に伝えていただければ、センターでは、気道異物と判断し救急車を手配すると共に、気道異物に対応出来る医療機関を探し、救急車に連絡し事なきを得ることになります。

しかしこのような場合に、すぐさま行ってみてはどうか、ということがあります。

金沢大学名誉教授の梅田良三先生が、日本気管食道学会発行の「認定医通信第6号、1993年5月、1ページ」にご執筆された『異物についての雑感』から、日本気管食道学会と梅田良三先生のご承諾を得て抜粋転載いたします。お読みくだ

さい。

『異物についての雑感』

梅田良三 (金沢大学名誉教授)

金沢大学耳鼻咽喉科学教室に入って5年目のことであるが、家庭で冷蔵庫の製氷皿でつくった2cm立方位の氷数個を皿に入れて、机の上に置き、ちょっと目をはなしたときに、そばで遊んでいた当時2歳になったばかりの長男が、目を白黒させ、もがいているのを見つけて、氷を咽喉につめたと思い、さてどうしたものかと迷ったが、瞬時に逆さにして振ったら出るのではないかと思いつき、後方から長男の腰を両腕で抱え込み、上下に、2、3回振ったところ、ころころと皿の上に氷片が飛び出てきて事無きを得た。続いたの後日談であるが、その時の状況を居合わせていて目撃していた手伝いの小母さんが、その一ヵ月後に経験した事として、友人の家に遊びに行き、目の前でその家の幼児が突然目を白黒させ、もがき出したので、とっさに長男の時の事を思い出し、逆さに抱えて振ったら、硬貨が1枚口から出てきて助けることができ、大変喜ばれたことを告げられ、けがの功名と私自身も肩身の広い思いをさせてもらったことが思い出される。

さて、私共の専門書には、・・・・・・。(中 略)  
最近みた看護学の専門書の中に、・・・・・・。

大学を停年退職後、現在は金沢市で老人保健施設の運営にあたっているが、入所者の基準は、病状は安定しており、入院治療の必要はないが、日常生活動作に不自由があり、家庭復帰のためには、リハビリテーションが必要な70歳以上の高齢者となっている。現在入所中の100名の方の平均年齢は82歳であり、8割位の方に軽度から中等の老年痴呆がみられ、また歯牙は同様に総義歯である。したがって心配事の一つに気道・食道の異物があげられ、管理者の苦勞がある。今年の正月には、これらの方に雑煮を出すべきかどうかについて職員間で論議され、誤嚥による窒息の恐れがあることが家族の方にも理解され、出さないで済ませることができた。2月の節分の豆撒きも、気管支異物を考え、いわゆるポーロで代用された。来る3月の桃の節句には当地では通常五色豆がお祝に出されるが、これも異物を恐れ、紙袋に入った五色のひなあられで代用する予定にしている。

最後に一言、先の看護学の本に3歳まではピーナッツを食べさせるなど書かれているが、私も全く同感である。

お読みいただき、如何がでした。

喉頭の入り口に異物が詰まり窒息しそうな時に、とっさに行ってみて事無きを得ることがあり

ますが、あくまでも、直ちに、とっさに、の行動で、詰まって時間がたってからでは効果は無いでしょう。また、とっさに行って1回で異物が出なかった時何度でも行うことは意味が無く、愛知県救急医療情報センターのお世話になりましょう。

異物症は防げる病気です。

外耳道の異物は、1歳から9歳までが多く、鼻腔の異物は1歳から5歳までが多い、すなわち、外耳道と鼻腔の異物は幼児に多いのです。

お母さん、お父さんが、幼児の周囲に気を配っていただくことで防げるのではないのでしょうか。

咽頭の異物は、年齢を問わず魚の骨が多いのです。お魚を食べる時は、お箸で捌いて（食べられる肉の部分と食べられない骨を区別して、骨を外へ取り出し）少しずつ口に入れよく噛みます。もしもまだ骨があれば、舌が感じます。舌は案外器用なので、骨だけを肉から分離して、口の外へ送り出します。それを、手で取り出します。そのためには、一度に沢山を口に入れずに、少しずつ上品に、ゆっくりとお魚を食べることです。これで、魚の骨が刺さることは防げます。また、魚の骨が刺さった時、ご飯の塊を飲み込まないようにしてください。ご飯の塊を飲み込むようなことをしなければ、一番刺さり易い咽頭に刺さり取るのに苦労が少ないのです。

喉頭の異物には、老人の柔らかいお餅があります。総義歯の老人の場合、お雑煮のような柔らかいお餅を食べなければ、お餅が喉頭の入口に詰まって窒息することも防げます。

次に、私のモタイ耳鼻咽喉科診療所の出来事から感じたことを記します。

昭和56年6月11日夜の診療も終わろうという時（午後7時30分頃）、46歳の女性が数人の仲間と共に来院しました。ゲー、ゲーと吐きそうにしていますが、吐くことはありません。息苦しい様子は全くありません。仲間の話を聞きますと、夕食を料亭で取っていたら、急にこんな様子になりました、とのこと。食道の入口部の異物と診断し、窒息の危険も無いと判断し、摘出することに

しました。

喉頭鏡で見ましたところ、白い長い骨が見えました。喉頭鉗子で掴むことができ、取ろうとしますと、グイと引っ張り込まれます。取る力を抜きますと引っ張られません。数回のうち、頃合をみて一気に取り出しますと、白い長い骨と見えていたのは骨でなく木綿糸で、その先に小指の先位のお魚の「いか」が巻き付いておりました。噛んだ形跡はありません。仲間がそういうえば、こんな料理がありました、とのこと。

食事の時に大勢で談笑しながらご馳走を食べるのは、消化に良いと言われていますが、食事が第一、話は第二でないといけません。

木綿糸が巻き付いたままのご馳走を口に入れるのは、話に夢中になっていたため、噛んだ形跡が無いのは、ご馳走を口に入れたまま大声で笑ったため息を吸い込んだ拍子に食道入口部に詰まったものと思いました。

食時の時、話に夢中にならないこと、食物を口に入れたまま大声で笑わないこと、という教訓が生まれました。

気管・気管支異物には、0歳から2歳までのピーナッツが最も多いことから、乳幼児の周りにピーナッツを置かない、食べさせないように、お父さんお母さんは気を配ってください。

食道異物では、0歳から5歳までの硬貨が多いのですから、乳幼児の周りに硬貨を置いたりしないよう気を使ってください。

タバコを乳幼児のそばで吸うこともいけませんし、タバコの吸いがらをお皿やお茶碗に入れることも止めてください。乳幼児がタバコの吸いがらを口に入れ、飲み込んだら大変です。胃を洗うことになります。

異物で苦しむことが無く、健康で明るい家庭を築き、楽しい毎日が送られますことを祈念しております。

## 7. 耳鼻咽喉科領域の異物の統計

表2に示すとおり、昭和57年から62年まで昼間夜間を合算しますと、咽・喉頭異物596例、鼻腔異物266例、外耳道異物237例合計1,099例です。

表2 名古屋市医師会休日急病診療所耳鼻咽喉科診療室実績 (年齢別・地区別・疾患別患者数)

年 度	来 所 患 者 数	年 齢 別				地 区 別		疾 患 別														二 次 転 送 患 者 数			
		0 歳 〜 5 歳	6 歳 〜 15 歳	16 歳 〜 59 歳	60 歳 以 上	名 古 屋 市 内	名 古 屋 市 外	愛 知 県 外	耳					鼻					咽 喉						
									中 耳 炎	外 耳 炎	耳 垢 栓 症	外 耳 道 異 物	内 耳 炎	そ の 他	鼻 炎	副 鼻 腔 炎	鼻 出 血	鼻 腔 異 物	そ の 他	咽 頭 炎	扁桃 炎		咽 頭 異 物	そ の 他	
昭 和	57	3,665	1,908	867	821	69	2,923	639	103	2,008	274	245	20	2	268	23	66	111	17	14	320	150	60	87	11
	58	3,512	1,836	798	831	52	2,772	524	116	1,828	337	173	25	1	838	19	70	76	34	23	316	129	43	100	18
	59	4,051	2,062	883	1,014	92	3,251	713	87	1,788	816	239	25	2	259	47	110	85	24	29	851	145	45	76	10
	60	3,908	1,916	832	1,061	99	3,133	685	90	1,719	377	214	22	9	290	69	105	109	34	21	717	96	57	69	17
	61	3,861	1,906	842	1,015	98	3,084	680	97	1,616	389	247	34	7	174	582	82	85	28	29	359	134	89	61	18
間	62	3,881	1,862	812	1,109	98	3,098	692	91	1,738	364	212	40	1	129	744	153	75	34	20	154	117	48	52	7
	小計	22,878	11,490	5,029	5,851	508	18,261	4,033	584	10,697	2,007	1,330	166	22	1,458	1,484	586	541	166	136	2,727	771	342	445	76
夜	57	891	500	175	197	19	714	148	29	475	55	36	4	0	65	5	21	36	12	3	77	34	30	38	2
	58	790	392	192	188	18	596	175	19	360	68	46	13	1	54	3	9	30	12	6	73	32	53	30	8
	59	1,072	598	225	236	14	854	188	30	500	74	52	8	2	77	8	28	29	12	11	163	33	48	27	5
	60	1,000	565	179	241	15	800	179	21	446	47	71	15	1	74	10	23	32	21	8	170	24	41	17	6
	61	1,122	605	263	236	19	895	200	27	537	68	79	15	2	47	112	28	29	17	8	81	32	39	28	2
間	62	1,160	521	230	286	23	903	223	34	435	108	41	16	1	39	275	35	29	26	8	52	26	43	26	5
	小計	6,035	3,281	1,264	1,382	108	4,762	1,113	160	2,753	420	325	71	7	356	413	144	185	100	44	616	181	254	166	28
	総合計	28,913	14,771	6,293	7,283	616	23,023	5,146	744	13,450	2,427	1,655	237	29	1,814	1,897	730	726	266	180	3,843	952	596	611	104

休日急病診療の開始が、昭和52年3月ですから実際は、もっと多いのです。

これらの摘出異物をできるだけ保存していただくよう出務医師にお願いしました。

昭和52年4月3日から平成元年3月26日までの間に摘出した異物で確実に保存してありましたものは344例で、そのうちで年齢不詳のもの4例を除いた340例について調査しました。

男性がやや多くなっていました。鼻腔異物が最も多く168例(49.4%)、次いで外耳道異物106例(31.1%)、咽頭異物59例(17.4%)で、喉頭異物は7例(2.1%)と最も少なくなっていました。

外耳道異物では表3に示すとおり、その65.1%が「おもちゃの破片」と「昆虫」で占められています。

鼻腔異物でも表4のように「おもちゃの破片」が49.4%ありました。その他は、「パチンコの玉」

が10.7%、「種子」が9.5%、「ビーズ」が6.5%となっています。

咽頭異物・喉頭異物は表5で分かるとおり、それらの殆どが「魚骨」でした。

外耳道異物の40.6%が満6歳から15歳まで、30.2%が満5歳未満、26.4%が満16歳から59歳までであるのに比べ、鼻腔異物ではその95.8%が満5歳未満です。

咽頭異物・喉頭異物は、16歳から59歳までが最も多く36.3%、次いで6歳から15歳までが27.3%、5歳未満が22.8%で60歳以上も13.6%あります。

満60歳以上では、鼻腔異物に1例(つりばり)、外耳道異物が2.8%と極めて少ないのは咽頭異物・喉頭異物と対照的です。

気管・気管支異物は、表6に示すとおり「ピーナッツ」37例、「ピーナッツ以外の豆」8例合計45例で、59例中76.3%を占め、その殆ど(93.3%)

表3 年齢不詳の1例を除いた「外耳道異物106例」の内訳

(年齢は満年齢・歳)

外耳道異物 106	年齢	1	2	3	4	5	小計	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	小計	16 ~ 59	60 ~	合計	
		男性	女性	男性	女性	男性		女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性		女性	男性		女性
おもちゃ 89	男女	0	3	1	3	2	9	2	1	4	2	1	1	0	0	0	1	15	1	0	0	
	小計	0	3	3	4	2	12	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	1	0	0	
昆 80	男女	1	0	0	1	0	2	0	3	0	0	1	0	0	1	0	0	5	6	0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	4	10	3	3	
耳かきの先 6	男女	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	0
種 5	男女	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	小計	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	
ごきぶり 5	男女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	4	0	
紙 4	男女	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
	小計	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小 4	男女	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	
粘 3	男女	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
穀 3	男女	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	
その他 7	男女	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	3	2	2	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	

表4 年齢不詳の2例を除いた「鼻腔異物168例」の内訳

(年齢は満年齢・歳)

鼻腔異物 168	年齢	1	2	3	4	5	小計	6 ~ 15		16 ~ 59		60 ~		合計
		男性	女性	男性	女性	男性		女性	男性	女性				
おもちゃ 88	男女	6	15	17	10	4	52	2	0	0	0	0	0	80
	小計	0	6	16	4	2	28	1	3	0	0	0	0	80
パチンコ玉 18	男女	0	5	1	2	2	10	1	0	0	0	0	0	17
	小計	0	1	3	3	0	7	0	1	0	0	0	0	17
種 16	男女	0	2	3	3	2	10	0	0	0	0	0	0	16
	小計	1	3	2	0	0	6	0	0	0	0	0	0	16
ビーズ 11	男女	0	1	2	1	0	4	0	1	0	0	0	0	10
	小計	0	0	2	3	1	6	1	1	0	0	0	0	10
けしごむ 5	男女	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	5
	小計	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	5
ネジ 5	男女	1	2	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	5
	小計	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5
スポンジ 5	男女	0	1	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	4
	小計	1	1	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	4
穀物 4	男女	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	4
	小計	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
発泡スチロール 8	男女	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
	小計	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
ボタ 3	男女	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
	小計	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
乾ぶどう 2	男女	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	小計	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
クレヨン 2	男女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	小計	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	2
小石 2	男女	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他 9	男女	0	2	1	2	0	5	0	0	0	0	1	0	8
	小計	1	1	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	8

※65歳男性：1つりばり

表5 年齢不詳の1例を除いた「咽頭異物59例」と「喉頭異物7例」の内訳

(年齢は満年齢・歳)

咽頭異物 59	年齢	1	2	3	4	5	小計	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	小計	16 ~ 59	60 ~	合計
	男性	2	2	1	2	1		8	1	0	1	1	1	1	0	0	0	1	6	11	3
女性	4	1	0	1	0		6	4	0	2	2	1	0	1	1	1	0	12	9	4	31
小計	6	3	1	3	1		14	5	0	3	3	2	1	1	1	1	1	18	20	7	59

※ ほとんど「魚骨」であるが、1歳女子の「昆虫」が2例、10歳女子の「はしの先」が珍しい。

喉頭異物 7	年齢	0 ~ 5	6 ~ 15	16 ~ 59	60 ~	合計
	男性	0	0	3	2	5
女性	1	0	1	0	2	
小計	1	0	4	2	7	

※ 4歳女子の「竹くし」1例、7歳男子の「くぎ」1例の他5例はすべて「魚骨」である。

注：昭和52年4月8日から平成元年3月26日までの間に、名古屋市医師会休日急病診療所耳鼻咽喉科診療室を訪れた「異物患者」から抽出した「異物」で確実に保存してあったものは344例。そのうちで年齢不詳なものを4例を除いた340例の内訳は次の通りである。

外耳道異物	106例(男性: 58、女性: 48)
鼻腔異物	168例(男性: 103、女性: 65)
咽頭異物	59例(男性: 28、女性: 31)
喉頭異物	7例(男性: 5、女性: 2)
合計	340例(男性: 194、女性: 146)

が0歳から2歳までです。

食道異物は、表7に示すとおり、貨幣が0歳から9歳までの18例に10歳から19歳までの1例を加えた19例(総数65例中29.2%)ありました。魚骨は30歳から70歳以上の15例(総数65例中23.1%)、鶏骨は29歳から69歳までの7例(総数65例中10.8%)、PTP(PRESS THROUGH PACKAGE、金属箔と塩化ビニールを用いた、錠剤やカプセル剤の包装法)は、40歳から70歳以上までの6例(総数65例中9.2%)ありました。

### 8. 耳鼻咽喉科抽出異物展示標本についての解説

#### 1) 抽出異物保存について

昭和50年3月8日の名古屋市医師会臨時代議員会において「名古屋市医師会館建設につけられた絶対不可欠条件である名古屋市医師会休日急病診療所(内科・小児科の他に耳鼻咽喉科と眼科を併

設)設置」が可決承認されました。

昭和52年3月6日から耳鼻咽喉科の休日昼間急病診療を開始しました。4月から会員による輪番を開始することに決め、試験的に3月は名古屋耳鼻咽喉科会の休日急病運営委員と役員が出務しました。

当時名古屋耳鼻咽喉科会理事でありました私は4月3日に出席しました。5歳男子がのど(咽頭)に魚の骨が刺さったとって来院しました。異物を取る鉗子がまだ無く、ピンセットで取りました。看護婦に聞いたところ、異物は初めてということでした。そこで、看護婦全員に異物は今後全部保存していただくようお願いしました。役員や出務医師にもお願いしました。この時の異物が第1号で展示標本の咽頭の1番上、通し番号の44に保存してあります。

このように保存していただいたため、統計をと



**表6 気管・気管支異物**

昭和51年1月から平成3年12月までの間に、名古屋市立大学病院耳鼻咽喉科を訪れた「気管・気管支異物」59例の内訳は次のとおりです。

気管支異物 59	年齢	0	1	2	3	4	5	10	20	30	40	50	60以上	計
							9	19	29	39	49	59		
合計		5	32	12		2	4	1		1		1	1	59
ピーナッツ		2	22	11			1	1						37
ピーナッツ以外の豆			6	1		1								8
義歯							1					1	1	3
歯冠			1							1				2
まち針		1				1								2
ピストル玉							2							2
プラスチックのおもちゃ		1												1
ビス			1											1
リンゴ		1												1
栗			1											1
魚骨			1											1

注：日本気管食道科学会会報第43巻第5号、平成4年10月、428ページ

って発表することができました。

異物保存にご協力いただいた各位に心から感謝申し上げます。

2) 耳鼻咽喉科摘出異物展示標本を作製した経緯

昭和58年に、「救急の日」の9月9日から15日まで、名古屋三越本店7階催事場において、名古屋市医師会・名古屋市・中日新聞本社の主催で「救急フェア」が開かれることになり、名古屋耳鼻咽喉科会にも協力依頼がありました。「相談コーナー」で「無料相談」を、というのが主催者側の意向でありましたが、「無料相談」は「耳の日」で実施していますので、当時名古屋耳鼻咽喉

科会会長をしていました私から、他の面での協力を申し入れましたところ了解をいただきました。

「救急」に相応しい耳鼻咽喉科分野の催し物は、と考えた結果、名古屋市医師会休日急病診療所耳鼻咽喉科診療室で異物を保存しているので、それを基にする「異物展示」の構想が頭に浮かびました。名古屋耳鼻咽喉科会理事会にお計りしましたところ、全員の賛成が得られました。

幸いなことに、名古屋市医師会休日急病診療所耳鼻咽喉科診療室開設以来、摘出異物は標本として保存しておりましたので、外耳道・鼻腔・咽頭・喉頭については、展示の材料に事欠きませんが、第一次医療を主体とする現在の休日急病診

表7 食道異物

昭和53年1月から昭和61年8月までの間に、宮崎県立宮崎病院耳鼻咽喉科を訪れた「食道異物」65例の内訳は次のとおりです。

食道異物 65	年齢	0	3	6	10	20	30	40	50	60	70	計
		 2	 5	 9	 19	 29	 39	 49	 59	 69	 以上	
	合計	13	5	4	3	2	4	7	7	8	12	65
貨幣		12	4	2	1							19
魚骨							1	2	4	3	5	15
鶏骨						1	2	1	1	2		7
PTP								2		1	3	6
肉片					1			1	2	1		5
梅干し										1	3	4
義歯							1	1			1	3
基石		1	1									2
その他				2	1	1						4

注：日本気管食道学会会報第38巻第4号、昭和62年8月、367ページ

注：PTPについて；PRESS THROUGH PACKAGE、金属箔と塩化ビニールを用いた、錠剤やカプセル剤の包装法で、高齢者が誤って飲み込むことが多い。

療の態勢下では、気管・食道の異物は皆無でした。やむを得ず、気管・食道の異物は高次病院である大学病院の耳鼻咽喉科学教室からお借りすることにしました。

ご協力いただきました名古屋大学・名古屋市立大学・藤田保健衛生大学の各耳鼻咽喉科学教室の教授及び医局員の先生方に厚く御礼を申しあげます。

横150cm×奥行き42.5cm×高さ5cmの透明アクリル板製の異物展示ケースを、7cm四方に区切り、取捨選択した異物を収容しました。

向かって左から、外耳道異物18件、鼻腔異物25件、咽頭異物8件、喉頭異物4件、気管異物3件、気管支異物6件、食道異物15件、合計79件の異物を収容しました。ポスターカラーで彩った

厚紙でそれぞれ区分した色彩豊かな『耳鼻咽喉科摘出異物展示標本』が出来ました。また横1.5m×高さ1mの解説パネルも作りました。

一般公開に堪える立派な『展示標本』と思っております。

作製者は、当時名古屋耳鼻咽喉科会会長でありました夔哲也です。

現在、この『耳鼻咽喉科摘出異物展示標本』は、名古屋市医師会休日急病診療所深夜急病センター（〒461名古屋市東区葵一丁目4-38・名古屋市医師会館内・電話052-987-7821）の2階の耳鼻咽喉科診療室への階段を上った突き当たりの壁面に（耳鼻咽喉科待合室兼廊下の壁面）、常設展示してあります。

●耳鼻咽喉科摘出異物展示標本について

### みみ・はな・のどにつまって 取り出した異物

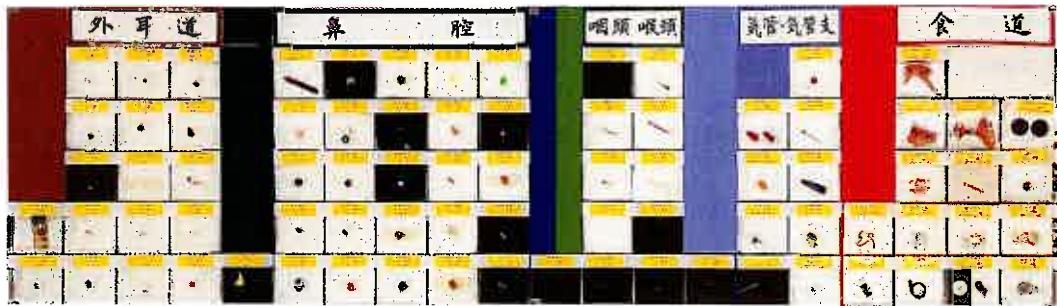
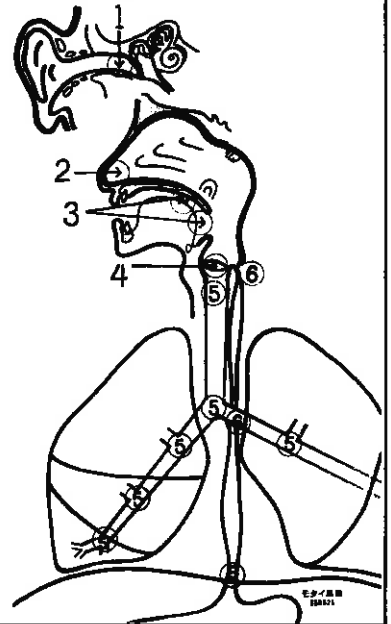
(名古屋耳鼻咽喉科会 提供)

みみ(外耳道1)・はな(鼻腔2)・のど(咽頭3、喉頭4)・(気管・気管支・気管支枝5、食道6)は、いずれも入口が狭い管のような所です。

従って、いろいろな物(異物)がつかまることがあります。

異物の種類やつまった場所によってはいき(呼吸)がとまって死ぬこともあります(窒息死)。たとえば気管5の入口で気管に蓋(ふた)をするように異物がつまったり、またお年寄りはおもむきも弱く入れ歯の人も多いので、おもちを食べている時に大きな塊のまま、また入れ歯がおもちにくるまま飲み込まれたりして、食道6の入口でつまり、そのために気管が押さえられ息ができなくなることもあります。こういう時には、救急医療情報センターへ電話して適当な病院・医院を紹介してもらってください。

ここに展示したあります異物のうち、外耳道1・鼻腔2・咽頭3・喉頭4の異物は名古屋市医師会休日急病診療所耳鼻咽喉科診療室で取り出したもので、気管5・食道6の異物は名古屋大学・名古屋市立大学・藤田保健衛生大学の各耳鼻咽喉科診療室で取り出したものです。



外耳道			鼻 腔					咽頭 喉頭		気管 気管支		食 道						
1	2	3	19	20	21	22	23	44	52	59	65							
4	5	6	24	25	26	27	28	45	53	56	60	66	67	68				
7	8	9	29	30	31	32	33	46	54	57	61	69	70	71				
10	11	12	13	34	35	36	37	38	47	55	58	62	72	73	74	75		
14	15	16	17	39	40	41	42	43	48	49	50	51	63	64	76	77	78	79

## 【凡例】異物の通し番号：年齢・性別

摘出年月日（年号は昭和）（不詳は空欄）

異物台帳登録番号

摘出側（記載のあった場合のみ）

## 【外耳道】

- |                                            |                                                |                                              |                                             |                               |
|--------------------------------------------|------------------------------------------------|----------------------------------------------|---------------------------------------------|-------------------------------|
| 1：26歳・男性<br>爪楊枝の頭<br>53.3.19<br>No.45      | 2：5歳・男性<br>おもちゃの破片<br>55.12.28<br>No.149       | 3：9歳・女性<br>豆<br>56.10.4<br>No.187            |                                             |                               |
| 4：12歳・女性<br>種子<br>53.9.23<br>No.25         | 5：9歳・男性<br>磁石<br>55.12.28<br>No.148            | 6：47歳・女性<br>黄金虫<br>58.1.28.<br>No.173        |                                             |                               |
| 7：3歳・女性<br>真珠の玉<br>54.5.27<br>No.85        | 8：4歳<br>玉<br>56.3.1<br>No.153                  | 9：3歳・男性<br>綿棒の先の綿<br>58.7.10<br>No.198       |                                             |                               |
| 10：43歳・女性<br>ゴキブリ<br>58.9.4<br>No.216<br>右 | 11：44歳・男性<br>マッチの先<br>55.5.4<br>No.115         | 12：18歳・男性<br>耳掻きの先<br>56.5.24<br>No.162<br>左 | 13：6歳・女性<br>ひまわりの種子<br>58.8.14<br>No.206    |                               |
| 14：14歳・男性<br>金属の玉<br>58.9.4<br>No.217<br>左 | 15：32歳・男性<br>プラスチック<br>の玉<br>55.8.31<br>No.134 | 16：4歳・女性<br>金属の玉<br>56.7.19<br>No.166        | 17：7歳・男性<br>ビーズの玉<br>58.8.14<br>No.207<br>右 | 18：6歳・女性<br>おもちゃ<br>？<br>4806 |

## 【鼻腔】

- |                                            |                                               |                                                |                                                  |                                                       |
|--------------------------------------------|-----------------------------------------------|------------------------------------------------|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 19：3歳・男性<br>鉛筆（5cm）<br>？<br>名大4302         | 20：5歳・男性<br>おもちゃの<br>目玉<br>53.7.23<br>No.38   | 21：1歳・女性<br>クレヨンの先<br>53.12.17<br>No.58        | 22：3歳・女性<br>プラスチック<br>のおもちゃ<br>55.5.25<br>No.117 | 28：5歳・女性<br>プラスチック<br>のおもちゃ<br>56.11.15<br>No.176     |
| 24：4歳・男性<br>真珠<br>53.1.3<br>No.18          | 25：5歳・男性<br>パチンコの玉<br>53.7.30<br>No.40        | 26：2歳・男性<br>小石<br>54.1.1<br>No.60              | 27：2歳・女性<br>金属のキャップ<br>55.6.8<br>No.120          | 28：1歳・男性<br>発砲スチロー<br>ルの破片<br>58.6.26<br>No.195       |
| 29：2歳・女性<br>干しぶどう<br>53.1.3<br>No.19       | 30：3歳・男性<br>ナット<br>53.9.23<br>No.46           | 31：1歳・男性<br>プラスチック<br>のキャップ<br>54.1.2<br>No.61 | 32：1歳・男性<br>ネジ釘<br>55.9.21<br>No.137             | 33：3歳・男性<br>さくらんぼ<br>の種子<br>58.7.3<br>No.196          |
| 34：3歳・男性<br>おもちゃの<br>破片<br>53.3.5<br>No.23 | 35：3歳・男性<br>小石<br>53.11.15<br>No.54           | 36：3歳・男性<br>陶器の蛙<br>54.1.14<br>No.65           | 37：3歳・男性<br>消しゴム<br>56.6.14<br>No.164            | 38：5歳・男性<br>鉄砲の玉<br>58.7.17<br>No.199                 |
| 39：2歳・男性<br>フェルトの<br>破片<br>53.6.3<br>No.34 | 40：5歳・女性<br>プラスチック<br>の玉<br>53.11.15<br>No.56 | 41：4歳・男性<br>磁石<br>54.5.5<br>No.82              | 42：2歳・男性<br>豆<br>56.8.30<br>No.169               | 43：2歳・男性<br>ピストルの<br>玉（2個）<br>58.8.14<br>No.210<br>両側 |

## 【咽頭】

44: 5歳・男性 魚骨 52.4.3 No.1	45: 1歳・男性 魚骨 ? 5909	46: 1歳・女性 昆虫 53.10.29 No.50	47: 42歳・女性 魚骨 52.9.25 No.9	48: 2歳・男性 魚骨 52.12.31 No.16
49: 77歳・女性 魚骨 56.11.23 No.180	50: 1歳・男性 魚骨 53.6.18 No.37	51: 6歳・男性 魚骨 54.1.3 No.63		

## 【喉頭】

52: 38歳・男性 歯科のリーマ ? 名大3908	53: 74歳・男性 釘 52.7.24 No.5	54: 67歳・男性 魚骨 56.7.5 No.165	55: 35歳・男性 魚骨 53.4.29 No.27
-------------------------------------	------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------

## 【気管】(摘出年月日は総て不詳)

56: 7歳・男性 キャップ (2個) 名大3311	57: 3歳・女性 ビーナッツ 名大3602	58: 19歳・男性 止め釘 名大4203
-------------------------------------	------------------------------	-----------------------------

## 【気管支】

59: 5歳・女性 プラスチック の玉 名大2909 右	60: 13歳・男性 マチバリ 名大3110 右	61: 13歳・男性 鉛筆のキャップ 名大2710 右	62: 54歳・男性 差し歯 名大3304 右
63: 2歳・女性 マチバリ 名市大8253 左	64: 6歳 ホック 名大3509 左		

## 【食道】

65: 33歳・男性 義歯 名大2709 入口部	66: 60歳・男性 義歯 名大2707 食道	67: 53歳・男性 義歯 保衛大5706 入口部	68: 2歳・男性 10円銅貨 (2個) 名市大4209 入口部
69: 68歳・男性 義歯 名大3511 食道	70: 8歳・男性 マチバリ 保衛大1212 食道	71: 3歳・男性 押しピン 名市大8251 食道	72: 42歳・男性 針金 名大3701 食道
73: 67歳・男性 PTP 名大3701 食道	74: 56歳・男性 PTP 保衛大5304 食道	75: 71歳・男性 PTP 名市大8252 食道	76: 28歳・男性 金属の管 名大4609 食道
77: 31歳・女性 金属の輪 名大4607 食道 食道	78: 11ヶ月・男性 ボタンと 果物の皮 名大4308 食道	79: 5歳・男性 ラケットの飾り 付きの安全ピン 名大2200	

(注) 名大=名古屋大学、名市大=名古屋市立大学、保衛大=藤田保健衛生大学)